

森づくり体験 in サンデンフォレスト

柏川町中之沢に位置し、東京ドーム約14個分の広大な敷地に豊かな自然を誇るサンデンフォレストは、敷地の半分が森林緑地となっています。森林緑地は、定期的に間伐作業や松枯れ対策を行うことで、その機能が存分に発揮されます。

前橋市では、株式会社サンデン様と協働で、間伐等の森林整備を体験し、森林緑地の維持管理について楽しみながら学び、自然環境への理解を深めるイベントを行っています。

実施日 令和7年12月14日（日）

場所 サンデンフォレスト

9時00分～9時30分

サンデンフォレスト「森の教室」に集合。

サンデンフォレストの概要や、森林の多面的機能、森林整備の目的について学びました。



豆知識

森林整備は、土砂災害の防止や水源のかん養、生態系の維持に欠かせません！

健全な森林はCO₂を吸収し、地球温暖化対策にも貢献します。
森林を整備することは、地域の景観や暮らしを守り、持続可能な社会の基盤を支える大切な取組です。

9時30分～11時00分

「森の教室」から、いよいよ森まで、敷地内を自家用車で移動します。ノコギリを使って木を切り、最後は力を合わせてロープで引っ張って倒しました。今回の森づくり体験では、カシの木を切りました。



11時00分～12時00分

枝葉を自然に還りやすくするために、枝を切り落として、ウッドチッパーで細かく粉碎。

幹の部分は、通常は薪などに利用されますが、今回はその一部を輪切りにして記念に持ち帰りました。

